

# ACCENT.

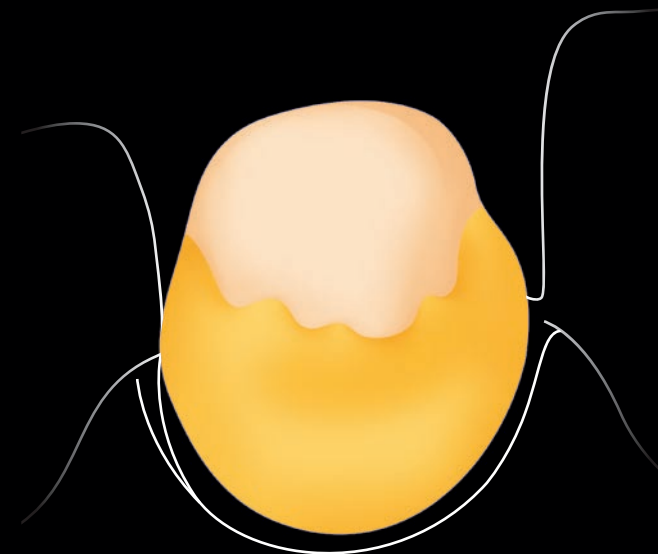
STEP.1



STEP.1 Cervical Accent

・陶材の築盛層が薄い歯頸部付近の彩度補足に使用します。

STEP.1



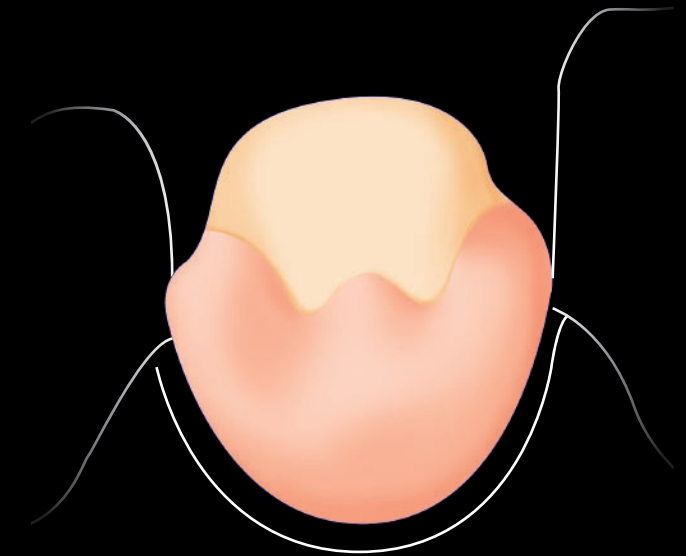
■ Opaque

■ Opaque Dentine

STEP.2



STEP.2



STEP.2 Cervical Accent

- ・ T-Salmonを歯頸部に一層築盛し、歯頸部付近の赤味のある透明感を表現します。

■ Opaque  
■ T-Salmon

# ACCENT.

STEP.3

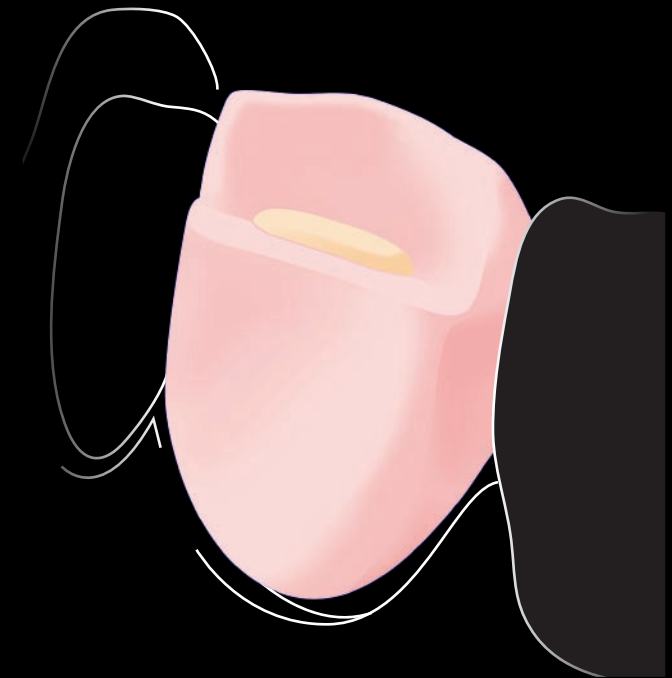


## Cut Back

### STEP.3

- ・ Dentineにて歯冠形態を回復し、エナメル層を築盛するための表層カットバックを行った後、不透明層表現のために先端部に垂直カットバックを行います。

### STEP.3



■ Opaque  
■ Dentine

# ACCENT.

STEP.4

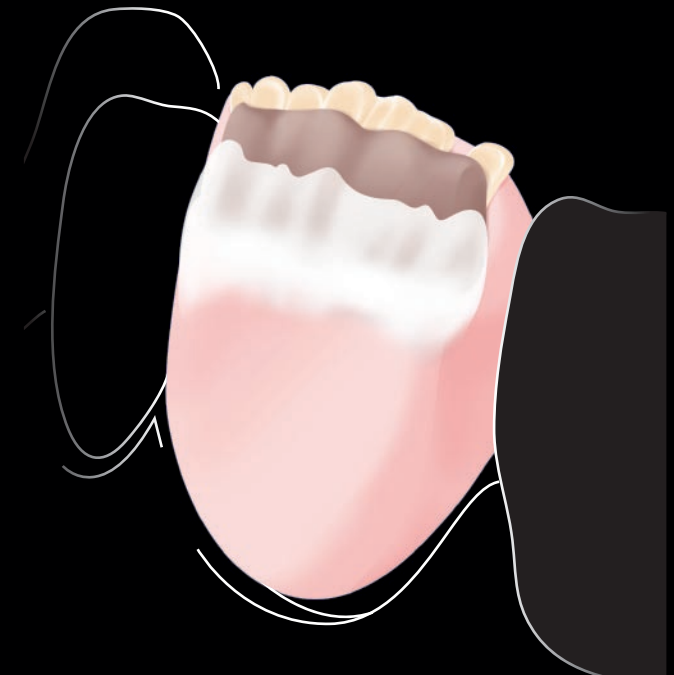


## Internal Accent

### STEP.4 老年代の切縁部に見られる不透明層・透明層・明度の高い層を表現

- ・切縁部にオレンジ系不透明層を表現するためMamelon-Orange:Mamelon-Vanilla(1:1)にて混合、築盛を行います。
- ・次にグレー系の透明層を表現するためT-Gray:T-Amber(1:1)にてマメロン部を覆います。
- ・最後にSnow White:White(3:1)にてホワイティッシュな明度の高い層を表現します。

### STEP.4



- Dentine
- Snow White+White
- Mamelon-Orange+Mamelon-Vanilla
- T-Gray+T-Amber

# ACCENT.

STEP.5

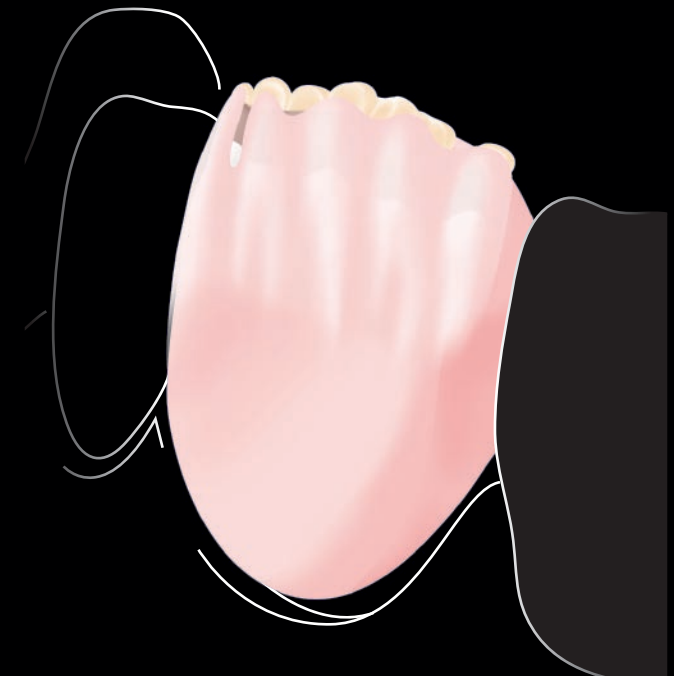


## Dentine Shape

### STEP.5

- ・切縁部にDentine:T-Clear (1:3)にて混合した透明度の高いDentineを使用し、STEP4のInternal Accentを覆い、象牙質形態を形成します。

### STEP.5



- Dentine
- Dentine+T-Clear
- Mamelon-Orange+Mamelon-Vanilla
- T-Gray+T-Amber



STEP.6

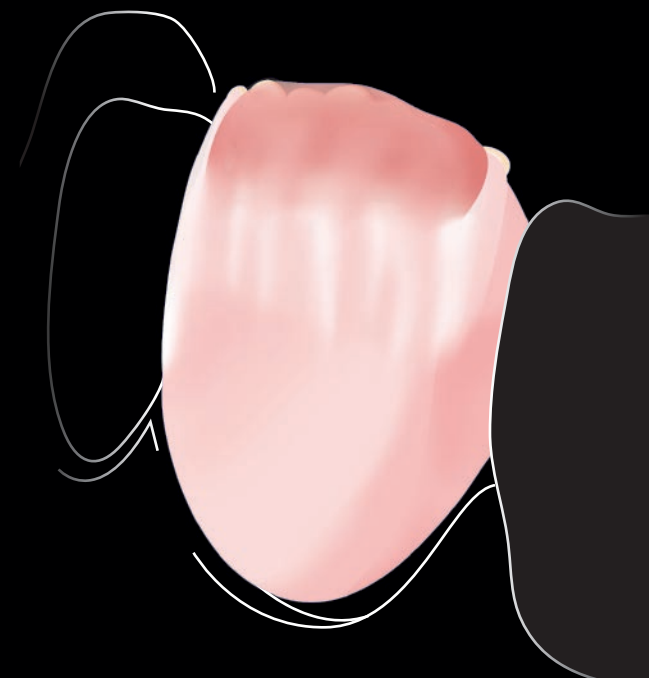


## Opal Translucent

STEP.6

・切縁部分の鉛色な透明感を表現するため、Opal Amberを築盛します。

STEP.6



- Dentine
- Mamelon-Orange+Mamelon-Vanilla
- Dentine+T-Clear
- Opal Amber

STEP.7

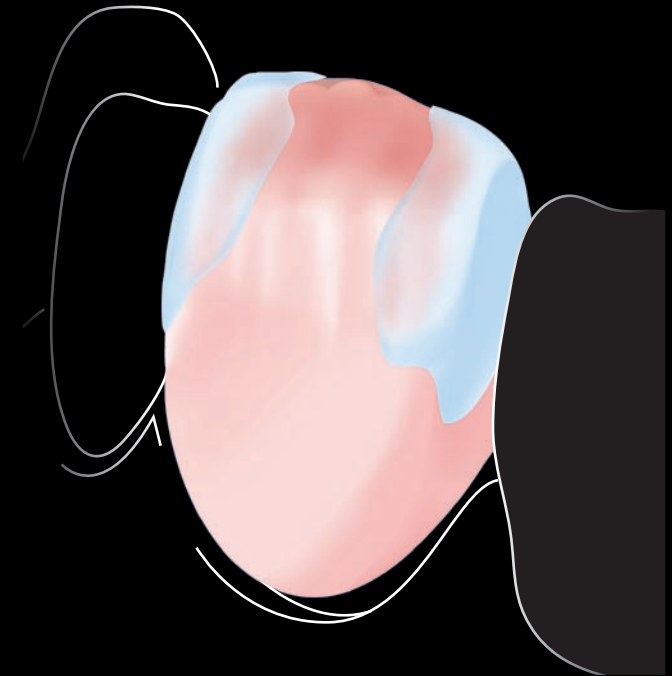


## Opal 1

STEP.7

・ 歯冠両隣接のブルー系透明層の表現をするために Opal 1を築盛します。

STEP.7



■ Dentine











■ Opal 1

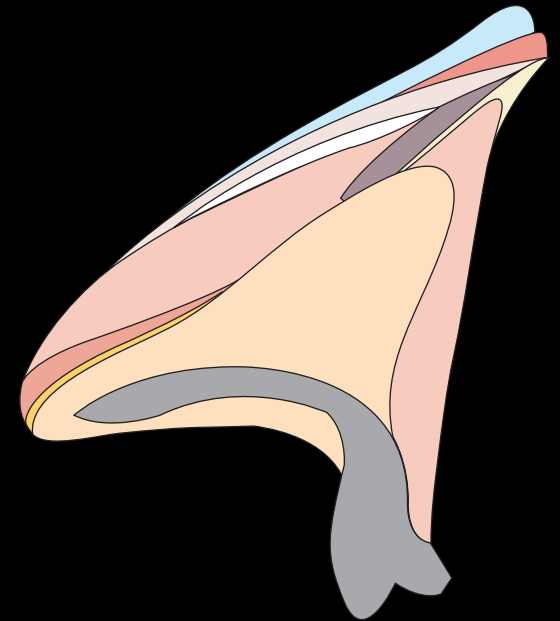
■ Dentine+T-Clear

■ Opal Amber

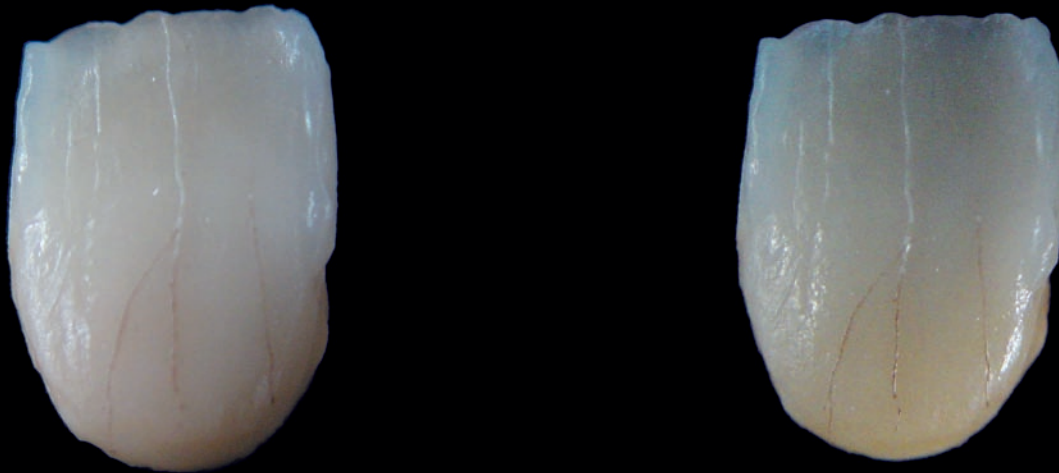
# ACCENT.



-  Opaque
-  Opaque Dentine
-  T-Salmon
-  T-Gray+T-Amber
-  Mamelon-Orange+Mamelon-Vanilla
-  Dentine
-  Snow White
-  Dentine+T-Clear
-  Opal Amber
-  Opal 1



STEP.8



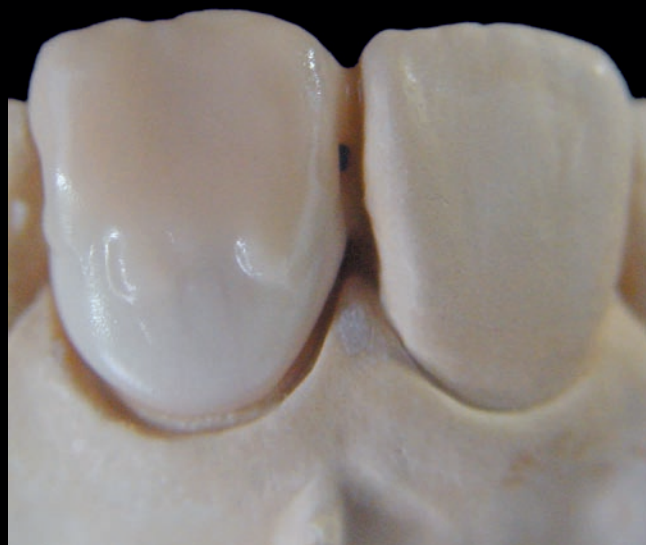
## SPRING OUT Stain

STEP.8 内部のステイニング

- ・ 歯頸、隣接部の彩度を上げるためStain Orange, Light Orange, Brownを使用します。
- ・ クラック表現にはStain Milkyを使用します。
- ・ ヘアライン表現にはStain Dark Brownを使用します

# ACCENT.

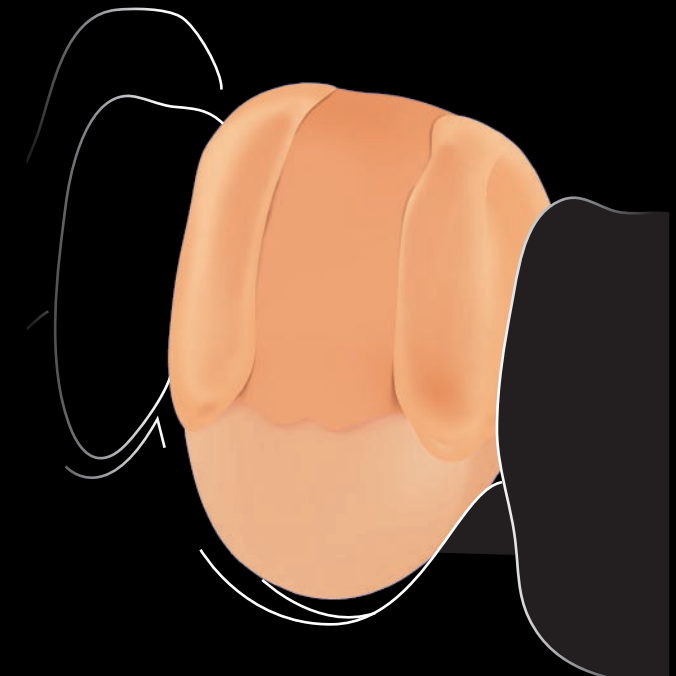
STEP.9



## STEP.9

### STEP.9 老年代エナメル質特有の鉛色系グラデーション

- ・ 歯頸部方向への鉛色系透明観のグラデーション表現としてT-Buffer:T-Clearを使用します。
  - ・ 切縁中央部には、Opal-Enamel E-3:Opal Amber (3:1)を使用します。
  - ・ 切縁部の隣接方向への鉛色系エナメル色のグラデーション表現として、Opal-Enamel E-2:Opal Amber (3:1)を使用します。
- ※混合比は床例によって異なります。



- 透明系Dentine (T-Buffer+T-Clear)
- Amber系 Enamel
- Amber系 Enamel (薄)



**Finished Goods**